

台湾中央畜産会との定期情報交換会の概要について

独立行政法人農畜産業振興機構

このたび、独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、台湾中央畜産会（NAIF）と定期情報交換会議を開催しました。

本会議は、日本、台湾の畜産物の需給状況等について意見交換を行う場として、原則として毎年度交互に開催しており、今回で3回目となります。

1 日時

平成24年4月24日(火) 10時半～16時

2 場所

行政院農業委員会（台湾）会議室

3 出席者

NAIF 王政騰（董事長）、李春進（執行長）、王祐桓（企画情報組長）他

ALIC 佐藤純二（理事長）、新川俊一（審査役）、宗政修平

4 主要議題

- (1) 台湾における牛肉需給動向について
- (2) 日本の鶏卵価格安定制度について
- (3) 今後の協力事項について

5 概要

(1) 台湾の牛肉需給動向について（NAIFより説明）

- ・2010年の牛肉生産量は約6.3千トン、牛肉生産額は約16億台湾ドル、牛肉輸入量は約11万トン
- ・主要生産地は台湾南部。主要品種はホルスタイン種（雄）
- ・牛肉の消費量は1人あたり約5kg。若年層の牛肉消費が増加しており、最近は増加傾向

(2) 日本の鶏卵価格安定制度について（ALICより説明）

日本の鶏卵をめぐる情勢及び鶏卵価格安定制度等について説明

— お問い合わせ先 —  
調査情報部  
国際調査グループ  
担当者 宗政、木下  
電話 03-3583-4397  
FAX 03-3584-1246